

耳鼻咽喉科(補聴器相談医)への受診で、
おひとりおひとりにあった
適切なアドバイスを受けることが期待できます。



山形大学医学部
耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座
教授 伊藤 吏 先生

ご自身やご家族が聴こえて困っていませんか? 「つい
ついテレビの音を大きくしてしまう」、「ニュースはわかる
けど、ドラマのセリフが聞き取りにくい」、「大勢での会話
が聞き取れない」、「聞き返すのも気が引けるから、つい聞
こえているふりをしてしまう」ということはありませんか?
近年、「難聴」が「認知症」のリスクを高めることがわかっ
ており、難聴への適切な対応が望まれます。

手術により聴力がよくなる方、補聴器で聞こえやすくな
る方、難聴が高度になると人工内耳で聞こえやすくなる
方もいます。補聴器はそれぞれのきこえの状況に合わせて
調整を行う必要のある医療機器です。ご購入の際はまず
補聴器相談医への受診をおすすめします。

人工内耳は1週間ほどの入院を伴う手術が必要で
すが、健康保険も適用され、ご高齢の方でも手術を受けら
れる方が増えています。最近では、スマートフォンの音声
を直接サウンドプロセッサに届け、電話だけでなく、動画
や音楽などもより楽しめる機種もあります。

「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 山形県地方部会」で
は、皆さまの聴力、耳の状態、経過を定期的に確認しなが
らおひとりおひとりにあった継続的なきこえの治療、補聴
のアドバイスを目指しています。

少しでも聞こえに不安があれば、ぜひ、補聴器相談医の
いる耳鼻咽喉科に受診してみてください。

山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科
〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 TEL 023-633-1122(代表)

- 地域医療機関からの紹介状を必ずお持ちください。
- 「特定機能病院」として、ご紹介による予約診療を行っています。
- 専門外来への受診をご希望の方も、まずは一般外来へ受診していただきます。

聞こえのチェックシート

当てはまる項目に
レ印を付けてください

- | | | |
|----|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 | 会話をしている時に聞き返すことがよくある。 | ☐ |
| 2 | 後ろから呼び掛けられると気付かないことがある。 | ☐ |
| 3 | 聞き間違いが多い。 | ☐ |
| 4 | 見えない所からの車の接近に
まったく気がつかないことがある。 | ☐ |
| 5 | 話し声が大きいと言われる。 | ☐ |
| 6 | 集会や会議など数人の会話でうまく聞き取れない。 | ☐ |
| 7 | 電子レンジの「チン」という音や
ドアのチャイムの音が聞こえにくい。 | ☐ |
| 8 | 相手の言ったことを推測で判断することがある。 | ☐ |
| 9 | 騒音の多い職場や大きくうるさい音のする場所で
過ごすことが多い。 | ☐ |
| 10 | 家族にテレビやラジオの音量が大きいと
言われることがよくある。 | ☐ |

0～2個

現状は問題ないと思われますが、「聴こえ」は急に
衰えることもあります。**定期的に耳鼻咽喉科(補
聴器相談医)を受診し、耳の検査をしましょう。**

3～4個

一度、**耳鼻咽喉科(補聴器相談医)に相談して**み
てはいかがでしょうか。

5個～

**できるだけ早く耳鼻咽喉科(補聴器相談医)の診
察を受けることをおすすめします。**

(日本補聴器工業会ニュースレターより引用)

聴こえにくいですか?

と感じたら、まずはお気軽に

耳鼻咽喉科受診をおすすめします。



補聴器相談医による
加齢性難聴の治療選択

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
山形県地方部会



加齢性難聴とは



加齢性難聴とは、加齢が原因で聴力が徐々に低下する現象で、音を感じ取る能力が低下する「感音難聴」の一つです。聴力の低下は、社会生活にさまざまな影響を及ぼすだけでなく、うつ病や認知症を引き起こすリスクも秘めています。

加齢性難聴の根本的な治療法はありませんが、初期から補聴器などで「聴こえ」を補うことで、自身の音を感じる能力を最大限に活用して、聴覚による円滑なコミュニケーションを維持することが期待できます。

「聴こえないのは年のせいだから仕方ない」と諦めずに、早めに耳鼻咽喉科を受診しましょう。

加齢性難聴の治療選択

難聴の程度	聴力レベル	きこえの状況
正常	25dB未満	小さな声やささやき声も聞こえる
軽度難聴	25～40dB未満	小さな声や騒音下での会話が聞きづらい 聞き間違いや聞き返しをすることが多い
中等度難聴	40～70dB未満	普通の大きさの声の会話が聞きづらい
高度難聴	70～90dB未満	普通の大きさの声の会話が聞き取れない
重度難聴	90dB以上	耳元で話されても聞き取れない

(日本聴覚医学会の資料をもとに作成)

治療の第一選択

1 補聴器の装用

補聴器装用でも効果が
不十分な高度・重度難聴

2 人工内耳の装用

1 補聴器の装用

補聴器を購入する際は耳鼻咽喉科
(補聴器相談医)の受診をおすすめします。



まず、難聴の原因を明らかにするために、耳鼻咽喉科の受診をおすすめします。中耳炎や耳あかが原因の場合には、治療や処置で改善することもあります。加齢性難聴が原因であれば、補聴器の適応について相談しましょう。

特に次の8項目のいずれかに該当する場合は、補聴器店が直接補聴器を販売することが禁止されていますので、耳鼻咽喉科の受診をお願いします。

- 耳の手術を受けたことがある。
- 最近3ヶ月以内に耳漏（耳だれ）があった。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下した。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなった。
- 外耳道に痛み、またはかゆみがある。
- 耳あかが多くたまっている。
- 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が25dB以上ある（左右の聞こえの差が大きい方）。
- 聴力測定の結果、500、1000、2000Hzの聴力に20dB以上の気骨導差がある（人の声は聞きにくいのに自分の声やものを囁む音は大きく聞こえる方）。

補聴器を購入される際の 医療費控除や補助制度について



補聴器が必要と補聴器相談医が判断した場合、認定補聴器店宛てに所定の様式の情報提供書を発行します。この情報提供書に基づいて認定補聴器店が補聴器を販売した際には、購入代金は医療費控除の対象となります。詳細は申告する税務署にお問い合わせください。

また、難聴の程度が身体障害者認定基準に該当し、認定を受けていれば、障害者総合支援法により等級に応じて補聴器購入時に補助を受けられる制度があります。認定の手続き方法はお住まいの自治体にお問い合わせください。

2 人工内耳の装用



人工内耳の構成

人工内耳は体外に装着するサウンドプロセッサと、体内に埋め込むインプラントの2つの装置により、電気信号で聴神経を刺激する医療機器です。



耳掛け型
サウンドプロセッサ



コイルー体型
サウンドプロセッサ



インプラント

人工内耳の聴こえのしくみ



人工内耳は補聴器を装用しても会話が困難など装用効果が不十分な方に対する効果的な聴覚獲得法です。

人工内耳手術は平成6年4月より健康保険の適用となっております。

また、高額療養費制度、心身障害者（児）医療費助成などの申請や自立支援医療制度などの適用で、個人負担を軽減することができます。

詳しくは、自治体の担当窓口、または手術を受ける病院の医療福祉相談窓口にご確認ください。